

## ■ 講師紹介

教授 八並 光俊  
やつなみ みつとし

● E-Mail : verite@rs.kagu.tus.ac.jp

【所属】東京理科大学大学院科学教育研究科/理学部第一部（神楽坂キャンパス）  
【専門】生徒指導（スクールカウンセリング） 【兼職】文部科学省視学委員

### 【専門領域・テーマ】

- (1)学校心理学・カウンセリング心理学に基づく生徒指導（教育相談）研究
- (2)データ・ベースト・スクールカウンセリング研究
- (3)ネットワーク型生徒指導体制（サポートチーム）研究
- (4)ガイダンスカリキュラム（授業型生徒指導）研究

### 【客員研究・文科・内閣府・OECD】

#### 1. 客員研究員

- (1)インディアナ大学教育学部文部省客員研究員
- (2)東京大学教育学部文部省客員研究員

#### 2. 主な文部科学省・内閣府・OECD 委員歴

- (1)学校と関係機関等との行動連携に関する研究会委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
- (2)不登校への対応の在り方に関する調査研究会議委員（国立政策教育研究所生徒指導センター）
- (3)生徒指導上の諸問題に関する調査研究委員会委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
- (4)生徒指導体制の在り方に関する調査研究委員会委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
- (5)不登校への対応におけるNPO等の活用に関する実践研究事業審査評価委員会委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
- (6)教育相談等に関する調査研究会協力者会議委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
- (7)少年非行事例等に関する調査研究企画分析委員（内閣府）
- (8)いじめ・暴力国際ネットワーク国内委員（OECD）

### 【科学研究助成・学会】

#### 1. 主な科学研究助成による研究

- (1)文科省・科研『システムズアプローチに基づく学校教育相談の一次支援モデルに関する実証的研究』
- (2)文科省・科研・特別研究助成『不登校児童生徒の「適応の場」に関する総合的研究』
- (3)文教協会・研究助成『児童自立支援施設と大学とのチームサポートによる社会的自立プログラムの開発研究』

#### 2. 主な学会活動等

- (1)日本生徒指導学会／理事・事務局長・機関誌編集委員・広報委員
- (2)日本学校心理学会／理事・広報委員
- (3)日本教育相談学会／調査研究委員・テキスト編集委員
- (4)学会連合資格「学校心理士」認定運営機構／理事・運営委員

### 【主な論文他】

「いじめを原因とする不登校生徒へのチーム援助効果の分析」（『生徒指導学研究』、単著,2002）：  
「連載チームサポートの理論と実際」（学事出版、単著,2003-2004）：「三次的援助サービスのためのチーム援助データベースの開発とチーム援助体制の改善効果に関する研究」（『生徒指導学研究』、  
単著, 2003）：「サポートチーム等地域支援システムとの連携（第一法規、単著,2004）：「クラスの荒れを防ぐカウンセリング」（ぎょうせい、共著,2004）：「生徒指導資料第2集 不登校への対応と学校の取り組みについて」（国立教育政策研究所生徒指導研究センター、共著、2004）：「学校と関係機関等との行動連携を一層推進するために」（学校と関係機関等との行動連携に関する研究会、  
2004）：「社会性と個性を育てる 毎日の生徒指導」（図書文化、共著、2006）：「学校心理学ガイドブック」（学会連合資格学校心理士認定機構、共著、2006）「応用実践期におけるチーム援助研究の動向と課題－チーム援助の社会的ニーズと生徒指導との関連から－」（日本教育心理学会編『教育心理学年報』、単著,2006）：「子どもの暴力に対する連携のあり方」（『児童心理』、単著、2007）：  
「対話で学ぶ臨床心理学」（ナカニシヤ出版、共著,2007）：「不登校」（ゆまに書房、共著,2008）：「教育実践心理学」（ナカニシヤ出版、共著,2008）：「生徒指導資料第3集 規範意識をはぐくむ生徒指導体制」（国立教育政策研究所生徒指導研究センター、共著、2008）：「新生徒指導ガイド」（図書文化、共編著、2008）：「サポートチームによるいじめの取組と組織的な予防」（『生徒指導学研究』、  
単著、2008）など多数／●その他：文部科学省教員養成GP（Good Practice）「理数教員養成におけるSTCプログラム開発」事業推進責任者（2006年・2007年）※STC（School To Career）  
※2009年度アメリカ国務省の招待プログラムの参加（International Visitor Leadership Program）